

尼崎労働者安全衛生センター

第24回総会 ご案内

2013年9月4日

尼崎労働者安全衛生センター
議長 松原 保

9月に入り少し過ごしやすいく気候となってきた感じがしますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。私たち安全センターは間もなく24回目の総会を迎えます。この一年も地道にはありますが、各労組の踏ん張りで着実に安全衛生活動に取り組んできました。

新年度の総会では複数の裁判で労災の可否等が争われてきた石綿（アスベスト）による肺がんについて学習します。石綿を吸うことによって発症する可能性のある代表的な病気は「中皮腫」ですが、「肺がん」は中皮腫罹患者数の2倍いると言われていています。しかし2011（平成23）年度以前に労災認定された中皮腫罹患者数が4,370件に対して肺がん罹患者数は3,299件（0.75倍）となっております。私たちはもっと多くの、埋もれた石綿肺がん罹患者がいると考えています。尼崎では労災だけでなく、クボタ周辺中皮腫被害者が270名を超えています。しかし石綿肺がんは4名となっており、公の責任による実態調査が強く望まれております。今回、石綿肺がんの労災認定基準などをしっかりと学習して、埋もれた被災者の支援に繋げていきたいと思っております。

皆さまの御参加をお待ちしております。（どなたでも参加可。無料）

記

と き：9月25日（水）午後6時～8時

特別講演：「その肺がん—石綿が原因では？」

講 師：名取 雄司 医師（中皮腫・じん肺・アスベストセンター所長）

と ころ：市立労働センター（尼崎市東難波町4丁目18-23）

※総会終了後、恒例の懇親会を予定しております（500円）。

お問合せ先 06-4950-6653（塩見、飯田）